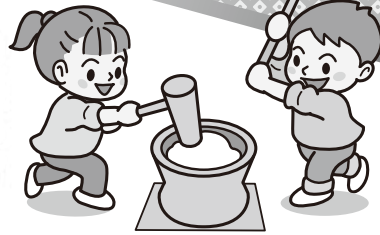


第一地区冬の恒例行事

コロナ禍もようやく落ち着きを見せ、地域の行事もだんだんと活発になってきています。今回は第一地区で毎年開催されている「第一地区餅つき大会」について、参加者とスタッフ、両方の視点からご紹介します。



令和6年1月1日現在
世帯数 : 859世帯
人口 : 1521人
男 : 726人
女 : 795人

みんなて正月を迎えよう

令和6年に向けて

新型コロナウイルスが、流行を始めてから約4年と成りました。その間各種行事は、余儀なく縮小、延期、中止、となり、家庭内に閉じこもっていたのが、まだ収束とはいかないまでも、ワクチン、皆の注意、減らそうという努力により、行事が出来るようになって来ました。

第一地区餅つき大会は12月9日土曜日にMウイングで行われ、4階会議室ではお正月遊びとして、コマ回し羽根つき等して楽しんでいました。福祉ひろばでは、「ピーナツバター」と言う大道芸人コンビが、正月に向けて、ふさわしい、南京玉すだれを披露しました。お子さん方の誕生日順に、

色々な玉すだれを披露し、おもに子どもさんが誰でも参加できるよう、楽しくその場を盛り上げて頂いたと思います。

誰もがその場に参加して楽しめるのが一番と思いましたが、

今は子どもでも、20年後は若手として、活躍していくのでは、と期待しています。

肝心の餅つきは、1階のロビーで行い、小さな杵を持った子ども達が次々と数回ずつ餅をつきます。中には臼を叩いてしまう子もいますが、危なっかしいながらも、体験して何かのきっかけをつかんでくれたらと思っています。

付き添いのお父さんも参加し、なかには、ベテランと見まがうばかりにしっかりとつきかたで、感心させられた方もいらつしました。

今では臼と杵の有る家庭は、ほとんど無く、地区での行事として、目にする程度ではないかと、郷愁を感じる方は、大勢いらつしやるのではないかと思います。

最後のお楽しみにも、みなさんがついた餅を、昼食にいただきます。

一昔前のベテランの方々から見ると、自分がついていた

南京玉すだれの歴史

発生については定かな記録はないが、「玉すだれ」が江戸時代に子どもの玩具として広まり、大道芸としての「南京玉すだれ」が現れたのも江戸期になってからとのこと。名前から南京発祥と思われるが、日本発祥である。

頃の餅は、もつと糸を引くように伸びたもの、と思っていたが、意外に伸びない、でも味は良い、と言うところでありました。餅ばかりではのどを通らないと、トン汁も用意され、大いに楽しみました。また参加された皆様方と共に、新年に向け、良い年に成りますよう、初夢を正夢にするよう、今後とも努力していきたいと思えます。



大道芸人「ピーナツバター」の賑やかなパフォーマンス



餅つきスタンプとして 参加してみて

師走となり正月を迎えるのに大事な餅つきがあります。餅つきにはいろいろな意味があり、楽しみもあり、食べる美味しさもあります。

12月9日(土)に、地区内の子ども達と一緒に楽しい餅つき大会を開催しました。

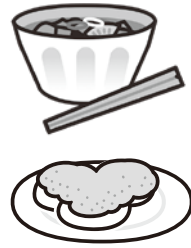
午前9時に集合し、係はそれぞれ担当の持ち場へ、子ども達は餅つきができるまで4階にて南京玉すだれを観賞し、正月の遊びを楽しみました。今回はもち米10キロを二臼と餅つき機で作業しまし



一臼目は午前10時ごろ蒸し米を杵でこねる作業に取りかかりました。この作業は大事で、餅のでき具合に影響しま



す。大変疲れますのでお父さん方にも作業をお願いしました。杵でつく作業も進み大体能きた頃、子ども達の餅つきになりました。ヨイショ、ヨイショの掛け声に緊張気味の顔をしてお父さん、お母さんと一緒につく子、杵の重さにふらつく子、何とか頑張る子、楽に杵を扱う子、もう少しつきたいと列に並ぶ子などさまざまでした。お父さん、お母さん方はわが子の写真撮影へと、杵を扱ったお父さんは自分の腰に手がいく人、もう少しできそうな人など楽しそうな風景がありました。それぞれ



楽しい思い出になればと思います。二臼目は午前11時ごろに始め、一臼目と同じ工程で終了しました。

昼食は係の女性方により、つきたての餅をきな粉とごまの盛り合わせと豚汁のセットで、おかわり自由でいただきました。美味しくおかわりする人もおりました。

食事の後は終わりの会があり、楽しかった餅つき大会は終了しました。係、担当の皆様方ご苦



電車通り

「どんな時が幸福を感じるか」についての、とある調査結果が公表されていました。1位：おいしいものを食べている時、2位：趣味の時間を楽しむ時、3位：旅行・温泉に行った時、4位：家族団らんの時、5位：パートナー（配偶者や恋人）と一緒にいる時。ここまで男女同じ結果。以下、お酒を飲んでいる時、子どもと一緒にいる時、買い物している時、仕事で成果を上げた時、友人と一緒にいる時、ベットと一緒に戯れている時、が男女共通ですが、順位が男女で違っていました。

むろん、調査はやり方次第でいろんな結果があるでしょう。例えば、ウクライナやパレスチナで調査したら、とか。前記の結果には、現在の日本社会の状況が反映しているわけですが、今は、新年の抱負を語る時期です。戦争や紛争の危機が最多となっている世界情勢は心に置きつつも、私達なりの幸福を追求する一年の計を立てたいですね。グルメを求めるとか、趣味を充実させたり、旅行や新しい経験などの計画を考えたりの、きつと幸せな時間になるでしょうね。